

## 講演

## 複雑な症例に対する包括的連携治療

山崎 長郎

## ●抄 録●

最新の細分化・専門化により高度な審美修復治療において、他家との連携は必須の治療形態になってきた。

例えば様々な問題を抱えた複雑な症例において、専門医はそれなりのアイデアあるいは治療計画を持ち合わせているものである。

一人の臨床医の能力では理想的な治療計画を妥協しなければならないので、治療計画自体を変更してしまう可能性が高い。

このような事態は決して患者に対し望ましいとは言い難い。

我々一般臨床医は自分の能力の限界をしっかりと認識し、より高い知識・技術を持ち合わせた専門医に紹介し、一緒になって理想形に近い治療計画を立案し遂行すべきである。

専門医との連携における共有事項

- 治療目的の確立
- 治療ゴールの想定
- 治療順序の組立
- 治療時の口腔内管理
- 補綴治療への移行

今回はこのセッションの導入として、過去から現在において、いかに他の専門医と何を考え治療を進めてきたか、YAMAZAKIの分類に基づき、症例を呈示し、今後の歯科医療の将来の方向を模索してみたい。

キーワード：YAMAZAKIの審美分類、マイクロスコープの有用性、ピエゾによるプレパレーション、修復マテリアルの選択

審美の分類に従い症例の要点及び治療順序、使用マテリアル等を含めて多方面から解説してみます。

- 審美分類
1. Type of patient
  2. Restorative Design

### I. Type I (Restorative patient) Class II div I II (partial a full veneer)

ここにおいては過去から現在に渡り、歯科のマーケットに様々な修復のシステムとマテリアルがデリバリーされてきたが重要な事はマテリアルの特性を良く理解し適材適所に使用していくことが成功のカギとなる。

又、一方治療においては正確なマージンを形成するために従来のハイスピードダイヤモンドバーだけではなく、形成用ピエゾを使用することにより非常に高いクオリティーのマージンを創出する事が出来る。



※冬期学会講師

(やまざき・まさお)  
日本臨床歯科学会理事長  
(S.J.C.D.インターナショナル会長)

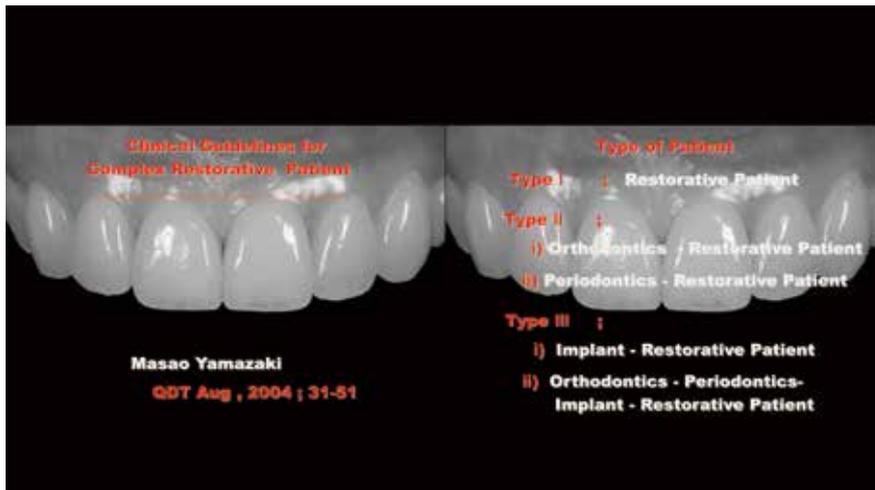


図1 YAMAZAKIの分類 (Type of patient)



図2 YAMAZAKIの分類 (マテリアルセクション)

## II. Type II III Design All Ceramics Zirconia

この章ではインプラント治療とデジタルデンティストリーの連携及びインプラント上部構造のマテリアル選択について理石の私見を述べた。

それはより高い精度を考えるならば現時点ではダブルスキャニング (AbutmentとWax up) の方が有意性が高いと思う。

又、3layerフルジルコニアは強度と審美生を考えると第一選択すべきマテリアルと考える。

## III. Type II divi Design P.L.V Zirconia

矯正治療と密な連携は審美治療を成功させる為の必要不可欠の要素である。

又、インプラントをアンカーとした症例はセットアップモデルの製作方法が埋入ポジションを決定する

において重要である。

最後にType II divi(ii) Restorative Design All Ceramicsより高い審美性を求めるならば歯周組織との調和は欠かせないものである。

特に今回はマイクロペリオサージェリーを行ったリッジアギュメンテーションとルートカバーの2症例を経年の結果ふまえた症例を呈示した。

このように複雑な修復治療には他家との連携及び適切な修復マテリアルの選択等が重要で又そこに最新のデジタルデンティストリー、マイクロペリオサージェリー等を加味してより高い審美治療を具現化していく事を考えるべきであろう。

## 参考文献

- 1) Ignacio Faus-Matoses, Fernanda Sola-Ruz : j Adhes Dent 2014 ; 16 : 29-34. doi:103290/jjad.a30754

## Collaborative Care Model for Complicated Cases

Masao YAMAZAKI, D.D.S., F.I.C.D.

*Chief Director of Society of Japan Clinical Dentistry*

Collaborations have become a key component of esthetic restoration treatments as novel subdivisions and specializations emerge in the field.

For example, specialized physicians typically have some ideas and treatment plans for complex cases that involve multiple issues.

If these cases are left to one physician, ideal treatment planning may have to be compromised and the treatment plan will likely be revised.

This kind of scenario is far from ideal for patient care.

As general physicians, we need to be aware of our limitations and refer our patients to specialists with specific knowledge and skills when needed in order to plan and provide optimal treatments.

Share information with specialists to:

- Establish the aim of treatment
- Consider treatment goals
- Plan treatment strategies
- Ensure oral management during treatment
- Ensure transition to denture treatments

As an introduction to this session, I will discuss some of my previous and current cases involving working with specialists based on the Yamazaki classification. I would like this to be an opportunity where we can discuss and explore the future of dentistry.

**Key words** : Understand Esthetic Classifications, Guidelines of Material Selection,  
Dental Microscope Influencing Long-term Crown Retention,  
New Techniques to Improve Preparation Margin